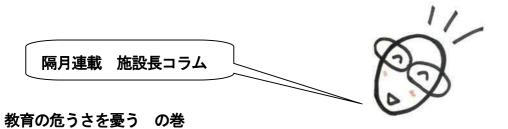


~主な内容~

- 施設長コラムイオン合同企画
- 親子クッキング ・研修報告
- ・アロママッサージ ・活動紹介

など

室 仙 集 発 行 口 収 責 任 者 山 2 0 1 7 年 3 月 発行日 2 5 日 〒983-0836 仙台市宮城野区幸町 3 丁目 12-16 Tel 022(293)3751 Fax 022(293)3752 E-mail sendai@tsudoinoie.or.jp #-Δ^°-> http://www.tsudoinoie.or.jp



週末、テレビをつけっぱなしにして台所に立っていると、報道番組から子どもたちのかわいらしい声が聞こえてきました。幼稚園の運動会の様子を報じているようで、さして気にも留めず聞くともなしに聞いていましたが、やがて『ん?』とテレビにくぎ付けになりました。子どもたちの発している言葉が違和感の塊となって私の耳に飛び込んできたのです。思わず誰もいない家の中で『なんじゃこりゃ!』と叫んでしまいました。

大阪の森友学園の報道はその週の前半くらいから徐々に出始めていましたが、『小学校建設のため国有地を法外な値段で払い下げた』『その学校の名誉校長に安倍首相の夫人が就任する』という内容のもので、私からすれば『ま~たやっとるよ』という程度のものでした。しかしこの週末の報道で、幼い園児たちが声を涸らして『にっぽんがほかのくににまけぬよう…』『にっぽんをわるものとしてあつかっている…』『あんぽほうせい、こっかいつうかよかったです…』などと言わされている姿を目の当たりにして、愕然としたのです。

かつて日本は戦争への道を突き進む中で教育の場を戦意発揚に活用していました。子どもたちは幼いころから、軍国日本を賛美する講話を受けたり歌詞を変えた唱歌を歌わされることで、日常的に軍国主義を刷り込まれました。国民の戦意を高揚するための『鬼畜米英』『進め一億火の玉だ』などのスローガンや『欲しがりません勝つまでは』『ぜいたくは敵だ』など耐乏生活を強いる言葉に縛られ、多くの子どもたちが考える隙も与えられることなく戦時下の日本を生きていました。以前にも書きましたが私は戦争を知らない世代ですので、当時の社会の雰囲気は細かくは分かりません。しかし先の幼稚園が『教育方針』として子どもたちに植え付けていることが、かつての戦時下の日本で行なわれてきたことに限りなく近いという危うさは感じることができます。そしてその危うさが、現代の我が国が向かおうとしている社会と同じベクトルを持つように感じ、非常に恐怖を覚えるのです。

この数年、『特定秘密保護法』や『サイバーセキュリティ基本法』、『刑事司法改革関連法』など、国民の知る権利が脅かされたり国民自身の社会生活が監視されかねない法案が次々に成立・施行されています。これにより政府の都合のよい情報のみを意図的に流すこともできなくないわけで、着実に地ならしが進められている印象を受けます。さらには『安全保障関連法』の施行により、先制攻撃はしないまでも我が国はアメリカへの加担という形で積極的に戦争に参加する道を突き進んでいるように感じざるを得ません。トランプ大統領と笑顔で握手を交わす安倍首相のご機嫌な姿や、まるで父娘のようにマティス国防長官と会見する稲田防衛大臣の姿はみなさんにはどう映ったのでしょうか。防衛費や思いやり予算を喜んで増額し、外交の折には嬉々として『お土産』を持参する日本に対して、おそらく相当したたかに作り笑いを浮かべているであろうことが透けて見えてしまい、危うい空気を感じるのは私だけでしょうか。

戦争と教育を記した本の中で、戦時中を教員として過ごした方が『戦前・戦中の教育は間違っていた。一番大きな問題点は刷り込みの教育一辺倒で、主体性を育んでいなかったことだ』と語っていました。物事が少しずつ分かり始める大切な時期に、教育の名目で自発的な動きも発言もできないような環境に置かれることが現代日本に起こりうるということが、恐ろしく、憂うべきことだと思うのです。

(管理者 山口 収)

イオン幸町店との地域合同企画 『今年は、まめま木??』

今年もイオン幸町店さんからお誘いがありました。「また今年もイオン幸町店の社員と合同レクリエーションをしませんか?」というお話でした。利用者、職員共大喜びです。

「今年も節分豆まきにしましょう」と決まりましたが、今年は一味違う



趣向になりました。普通であれば「福は~内、鬼は~外」ですよね! 地方によっては「福は~内、鬼も~ 内」と掛け合うところがあるそう



で、鬼を味方にして家内に入って来る邪気を鬼に退治してもらうそうです。『これは縁起が良い』ということで、厄年の利用者さんたちに鬼役になってもらい、厄を一緒に払ってしまおうということで計画を進めました。

例年どおり、創作に使う文房具や物品・豆まき用の豆などもイオンさんに提供していただきました。当日は3つの班に分かれて鬼のお面作りから始めましたが、3年目ということもあって社員さんと利用者さんはすぐに打ち解け合い、和やかな雰囲気で会が進んでいきます。出来上がったお面を利用者さんがかぶってホールへ登場!すると、なんだか変な木も現れ『まめま木??』職員が顔を絵の具で緑色に塗って…一同大笑いです。「福は~内!鬼も~内」と優しい感じで、穏やかな豆まきになりました。



帰り際、初めて来られたイオンの社員さんから「合同イベントに参加したのは初めてですが、素晴らしい 企画でとても楽しかった。毎年やりましょう」とお言葉を頂きました。今年度もイオン幸町店のみなさんに は大変お世話になりました。心から感謝を申し上げます。(記:有住)

児童館主催小学生クッキングを行いました♪

2月 11 日にさいわいどんぐりクラブ④児童館主催小学生クッキングを工房めいぷるで行いました。学校で大流行中のインフルエンザの影響で、今回小学生の参加は7名、利用者の参加は5名でした。2月のイベントといえばバレンタインデー!ということで「チョコスコーン」を作りました。

粉を混ぜたり、できた生地を量って丸めたり、チョコレートでコーティング したりと子どもたちの真剣な表情や楽しそうな表情が見られました。「バレンタ





インデー誰にあげようかな?」という話題になると 「私は自分で食べる!」といった声も。子どもたちは

少しずつできていくスコーンにワクワクした様子です。利用者さんはいつも工房でお菓子を作る側ですが、その日は講師として子どもたちに教える側になりドキドキしていました。佐藤咲子さんが「こうやってスコーン丸めるんだよ!」とお手本を見せると子どもたちがそれを見ながら同じように丸めます。和やかな雰囲気でクッキングが行われました。

研修報告

全国障害者生活支援研究セミナー

2月 1 1日、12日と東京で行われた、全国障害者生活支援研究セミナーに参加してきました。今回のセミナーは「本人中心の支援と共生のまちづくり」というテーマで行なわれ、分科会では「本人主体の支援と意味了解的アプローチ」といった行動障害についての勉強をさせてもらいました。

その中で大きく3つの視点が印象に残りました。1つめは、行動障害はつくられるということ。問題とされる行動の起因となるものは、乳幼児期からの背景や構造を見ていかなければ分からない事も多く、先を見据えてのライフサイクルを通した一貫した継続した支援が必要であるということです。2つめとしてエピソードを通して考えるということ。問題と呼ばれる行動にだけ着目するのではなく、一連の行動をエピソードとして見ていくと背景に辿り着きやすいということです。3つめとして意味了解的アプローチを行うこと。行動修正を図るのではなく、意思・感情・内面世界を主体的存在と捉え、本人の立場に立って理解していくこと・本人が自信を持って表現できるようにしていくことが大切だということです。グループでのディスカッションでそれぞれのお話を伺って、支援者として共有できる部分もたくさんありました。利用者一人ひとりの行動を問題行動と捉えるのではなく、表現としての行動=表現行動と捉えるようにしていきたいと強く感じる機会となりました。(記:鈴木恵)



研修報告

内部研修:食形態の勉強会

1月26日に仙台つどいの家にて食形態の勉強会を行いました。ゲストに訪問看護ステーションもりのとびらの鳴海さんをお招きし、講義と実演をしていただきました。

講義の中で特に興味深かったのが、食事に関する最近の研究についてのお話でした。エンシュアやラコール等の栄養剤を摂取しても胃が動いておらず、ミネラルが不足している。ところが通常の食事を摂取した場合、胃が動いてホルモンバランスに良い影響を与えたり、消化を助けてくれるということです。

講義の後にスベラカーゼという不思議な粉を使って実演。ゆるいご飯とひじきをフードグラインダーで混ぜ、そこにスベラカーゼを入れて調理したものと、普段使っているとろみ剤を入れて調理したものをみんなで試食。食べ比べてみるとその違いは歴然。普段のとろみ剤と比較すると、スベラカーゼはべたつき感がほとんどなく、喉越しが良かったです。これなら嚥下機能が低下している方も咽ずに食べることができると感じました。次に経管栄養の方が利用する小児用チューブにもスベラカーゼ入りのひじきごはんを通してみると。。。誰しもが詰まると予想していたのに、詰まることなく滑らかに通って、参加者全員が驚いておりました。スベラカーゼ恐るべし!注意点としては、70℃以上の温度でないと、上手く固まらないそうです。試しに 40℃ぐらいのお湯で作ってみましたが、固まりませんでした。

今回の勉強会を通して改めて食べる事の大切さ・意義を再確認することができました。鳴海さん、ありがとうございました。(記:櫻井)

アロママッサージ始めました~♪



仙台つどいの家では、希望者がサークルのような形で、月2 回音楽療法と生け花をそれぞれ行っていますが、このたびアロママッサージも定期的に行うことになりました。

アロママッサージを行うキッカケになったのは、訪問アロマケア「ゆるっと」の佐藤佳苗先生に夏まつりにボランティアに来て頂いたことでした。佐藤先生は、鶴谷特別支援学校の教諭をされていたこともあり、利用者の中には学生時代に

お世話になった方もいました。

アロマオイルは3種類あり、それぞれ香りを選んでマッサージ開始です。オイルが血流にのって全身をめぐるため、血行促進やリラックス効果だけでなく便通改善にも良いそうです。マッサージを受けた皆さんは、気持ちよかったようでウトウトしていました。ご家族からも「体がずっとぽかぽかしている」というご意見を頂きました。今後も利用者の皆さんがホッとリラックスできる時間になればと思います。



(記:佐々木)

職員コラム 松原職本さん 「俺の五か年計画」

今年の2月に20歳を迎えました。20歳になり、学生の時より体力面では衰えましたが、金銭面で少し余裕がでてきたので色んな事にチャレンジ出来るようになりました。 計画的に目標を達成するために五か年計画を立てました。

まず、今年やることはスキューバーダイビングのライセンスを取ることです。今年の6月に友達と近隣の海に取りに行きます。ライセンスを取得したら沖縄の綺麗な海に潜り、イルカやカジキマグロと泳ぎたいです。冬には中型バイクの免許を取ります。バイクは風を切る感じと渋滞にはまらない機動力が好きです。

一年後は、お金を貯めて 125 ccのバイクを買います。前までは 400 ccが欲しかったのですが、維持費が安いので 125 ccにしときます。バイクを買ったら、下道だけを走ってどこまで行けるか試したいです。行ったことのない四国に頑張って行きたいです。

二年後は、高校の時からずっと行ってみたかったイタリアのヴェネツィアに行きます。 ゴンドラという観光船に乗り、カーニバルに参加してみたいと思います。本場のイタリアンや、カフェラテ発祥の店「カフェフロリアン」にも行きます。

三年後は、東京五輪があるので日本に有名なスポーツ選手がたくさん来ます。なので、 世界的に有名な選手と会ってサインを貰い、写真を一緒に撮りたいです。私自身も東京 五輪を目指して運動を頑張ります。

四年後は、南米ボリビアのウユニ塩湖に行きたいです。「天空の鏡」と呼ばれていて、 星空や空の景色が湖一面に映り別世界に来たような感覚になるようです。

五年後は、車を買います。大きい車や外車もいいですが、運転に自信がないので安全 装置のオプションを沢山つけた軽自動車を買います。

この五か年計画すべてを絶対に叶えてみせます。この目標以外にも新たな目標が出来 るように今後も色んな事にチャレンジしていきたいです。

ピュアハーツアート展

1月27日から2月1日まで行われた、仙台市知的障害者芸術文化協会の「ピュアハーツ・アート展」に3名の方の作品を出展しました。

阿部明日さんは、市民の皆さんに独自の世界観・表現を知ってほしい、見てほしい、作品に触れてほしいという思いから出展しました。佐藤咲子さんは、自身でどんな作品が良いかとプレッシャーを感じ試行錯誤しましたが、図書館で情報を探したり美術館に行って様々な刺激を受け、自宅で制

作しました。菊地愛子さんは写真を撮る事がとても好きで、撮影したものを皆に見てほしいと、以前よりコレクションしていた写真の中から厳選して1枚に絞って出展作を決めました。しかし、展覧会が近づくにつれて自分の手元から作品が離れていく感覚に不安を抱くこともありました。





色々な思いを持ちながら三者三様の表現方法を用いて、本当に素晴らしい作品を出展することができました。作品はたくさんの方々の目に触れ評価され、3名の方にとっても充実したアート展となりました。今回の出展で自信を得て、自分の展覧会を開きたいと話す方もいました。これからもどんどん表現の場を広げていきたいと思います。 (記:鈴木恵)

湯ったり苑で ゆったりと





冬は温泉が恋しくなりますね~。ということで、2月24日もみじグループの松田翠さん、くるみグループの菊地愛子さんと「とみや湯ったり苑」に行ってきました!晴天に恵まれながらも風が冷たく肌寒い1日でしたが、ジェットバスや露天風呂、立ち湯など色々な温泉を楽しみました。愛子さんは何日も前から「温泉よろしくね!」と挨拶をしてくれ、当日も翠さんの荷物を持ってくれたり、車椅子を押してくれたり、浴室で滑らないようにゆっくり歩いてくれたりとたくさんお手伝いをしてくれました。愛子さんの気持ちが伝わったのか、翠さんもにこにこ笑って嬉しそうでした。1時間程湯舟につかり(私が若干のぼせてしまいましたが…笑)、昼食をはさみゆっ

たりしてつどいに戻りました。体 はもちろん、利用者さん同士が相

手を気遣い、助け合う場面を見ることができ、心までほっこり温かくなりました。3月後半に入りだんだん春が近づいてきましたが、これからも体と心がぽかぽか温かくなるような外出をたくさん企画していきたいなと思います。(記:伊達)



夢のような時間でした・





2月18日(土)にけやきグループの岩佐美奈さんとセキスイハイムスーパーアリーナで行われた「にっぽん演歌の夢まつり」というコンサートに行ってきました。美奈さんは、歌が大好きで色んなジャンルの音楽を知っています。もちろん、演歌にも興味があり「鳥羽一郎さんは?」と聞くと「兄弟船!」、「五木ひろしさんは?」と聞くと「夜明けのブルース!」と元気よく答えてくれます。美奈さんとお話していると職員達も自然と演歌が身近なものになっていきます。いざ、コンサートが始まると、いつもテレビで見ている歌手が次々と登

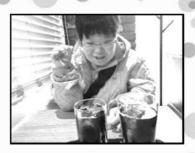
場し、歌を歌っています。その光景を見ると驚きのあまりぴくりとも動かず、ただ 真剣に真っ直ぐステージを見つめていました。だんだん会場の雰囲気に慣れて くると、歌に合わせて身体を揺らレリズムを取ったり、出演者の衣装や演奏のギ ター、バックダンサー、バックモニターに映る雪や桜の映像に集中したり…すべ てが美奈さんにとって新鮮で、細かい所にも注目して目を輝かせながらコンサ ートを楽しんでいました。帰りの車の中はコンサートの余韻が冷めやらず、2人で 「細川たかしさん」の「北酒場」を熱唱しながら帰ってきました。美奈さん、楽しい お出かけでしたね。私も楽しかったですよ。(記:庄子)



つどいの中心で性を叫ぶ (デート体験)

あなたには、ドキドキする相手はいますか?

ドキドキする相手とお出かけする時は「どんな服を着て行こうか?」「何を食べようか?」考えることがたくさんありますよね。 それは、生きる喜びを感じる瞬間でもあります。仙台つどいの家で



は、「つどいの中心で性を叫ぶ」(通称:つど中)という職員有志による性の勉強会を開催しています。今回のつど中では、鶴谷特別支援学校の元教員で、性の支援に積極的に取り組まれている鈴木良子先生に、疑問や課題についてアドバイスを頂きました。お話の中で、男女でのふれあいを持つ意味で、「気になる人同士でデートをしてみるのも良いのでは?」というアドバイスを頂きました。偶然にも次の日は、「頑張って目の手術が無事に終わったら健さん(職員)とコーヒー飲みに行きたい」と大村明日美さんに誘われていた外出の日でした。

翌日、セルバ・テラスへ。おしゃれをして、雰囲気の良いお店に入りコーヒーを注文。 「楽しみにしていたの」という言葉からも一緒のお出かけを楽しんでくれているようで した。

利用者だから…寝た子を起こすな…問題が起こったらどうする…ではなく、人間として生まれたからには人生を楽しんでほしい。まだまだ小さな取り組みですが、いつか好きな人とデートしてドキドキを感じてほしいなと思います。(記:佐々木)

information



スケジュール schedule

<u>4月</u>

3日(月)辞令交付式 全体職員会議 7日(金)チーフ会議 10日(月)イエローレシート

ケース会議(13:30 降所)

11日(火)イエローレシート 無線訓練

19日(水)職員会議

20日(木)施設懇談会

24日(月)後援会総会 チーフ会議

25 日(火)経営会議

27日(木)ケース会議(13:30降所)

ご近所プロジェクト

<u>5月</u>

8日(月)ガレージセール

11日(木)イエローレシート 無線訓練

16日(火)内部研修

19日(金)職員会議

20日(土)休日開館日

22日(月)施設懇談会

25日(木)経営会議

26日(金)チーフ会議

30日(火)ケース会議(13:30降所)

31日(水) ご近所プロジェクト

缶回収

1月、2月の納品額

合計 6,018円 でした。 ご協力ありがとうございました。



編集後記

つい最近年が明けたと思っていましたが、気付けばもう3月ですね。3月は別れの季節で寂しくなってし まいますが、もうすぐ4月!!新しい出会いが待っています。今年度もとんがらし通信を読んでいただき、あ りがとうございました。来年度も、皆様に仙台つどいの家のことを知ってもらうべく、とんがらし通信をお 届けいたしますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。(佐藤唯)

ご協力ありがとうございます

ボランティアとして協力して頂いた皆様

(1月17日~3月8日まで)

吉田さん、京子さん、正司さん、恭子さん、シルビア さん、寺元さん、大和田さん

介護人実習:高山さん

GH世話人実習: まり子さん、萬さん

新人職員実習:高橋あかねさん、高橋杏奈さん、三宅

さん、富沢さん、寺島さん、村上さん

見学・聚動着など

石巻共生園、モフランさん、多々良さん、鈴木良子 さん、ウェルポート、アドフォート(島田さん)、明 成高校(高橋先生)、河東田先生、愛音 21 (及川 さん) アロマケアゆるっと(佐藤さん)、ブルーム(水 沼さん)、JCI(瀬戸さん)、音楽療法(向井田先生・ 菊地先生)、あおぞら診療所(田中先生)、金野先生、 もりのとびら(鳴海さん)、幸町市民センター(大橋 さん、太田さん)、鶴谷特別支援学校(板橋さん)、 イオン幸町店職員の皆様、今庄青果、マルキ水産、 マルイ、鈴木米穀、サトー商会、ダスキン、アップ ルケア、千葉出版印刷、セトヤサプライ、訪問調査 センター、ホシザキ東北、バイタルネット、東芝コ ンシューマーマーケティング(株)、日本テクノ、 共栄防災、千葉商店、フラッツ21、風の郷工房(中 川さん)、サラヤ、フジマック、東京海上日動(鎌田 さん)

法人職員:渡部、可野、檜山、福地、高橋、加藤、 三浦、児玉、佐伯、山添、寺田、佐藤、今川、渡邊 ほか多数。 (以上、ご芳名順不同)